

設置年度 令和 2年度  
計画の区分： 学部設置

**認可**

修文大学 医療科学部

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人修文学院  
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	大学事務局
職名・氏名	ジムキョクジチュウ エサキヒロシ 事務局次長 江寄宏史
電話番号	0586-45-2101
（夜間）	0586-45-2101
e-mail	<a href="mailto:iryokagaku@shubun.ac.jp">iryokagaku@shubun.ac.jp</a>

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 医療科学部

＜臨床検査学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人修文学院

## (2) 大学名

修文大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒491-0938  
愛知県一宮市日光町6番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ マサト) 吉田 真人 (平成28年4月)		
学長	(ニワ トシミツ) 丹羽 利充 (平成28年4月)		
学部長	(イソベ ケンイチ) 磯部 健一 (令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医療科学部 臨床検査学科 学士 (臨床検査学)	保健衛生学関係 (看護学関係及び びりハビリテーション 関係を除く。)	4 年	80 人	— 年次 人	320 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80人 ( - ) [ - ]	人	80人 ( - ) [ - ]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	人 ( ) [ ]	人	0.85倍	- 倍	
志願者数	278 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	362 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	263 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	347 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	212 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	330 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	63 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	74 ( - ) [ - ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	0.78		0.92										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	63 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	74 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )							
2 年次	/		60 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )							
3 年次			/								
4 年次	/										
計			63 [ - ] ( - )		134 [ - ] ( - )						

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	63 人	3 人	令和2年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への転学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)
令和3年度	134 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		3 人		3 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{63} = \boxed{4.76} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{134} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<医療科学部 臨床検査学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目・基礎分野	科学の基礎	化学	1前	2							1	
	生物学	1後	2								1	
	物理学	1後		2							1	
	数学	1後		2							1	
	基礎セミナー	1前	1			10		3	2			
	人間と文化	言語と表現	1前		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
		暮らしと経済	1前		2							1
		国際文化論	1前	1								1
		食文化論	1後		1							1
		手話	1後		1							1
		生命倫理	1後		2							1
		社会保障制度概論	1後		2							1
		哲学	2後		2							1
		心理学	2後		2							1
	コミュニケーション論	4前	1								1	
	スポーツ	健康とスポーツ	1前		2							1
		スポーツ実技	1後		1							1
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	1前	1								1
		コミュニケーション英語Ⅱ	1後	1								1
		メディカル英語Ⅰ	2前	1								1
		メディカル英語Ⅱ	2後	1								1
		ドイツ語Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1							1
		中国語Ⅰ	1後		1							1
		中国語Ⅱ	2前		1							1
		フランス語Ⅰ	2前		1							1
		フランス語Ⅱ	2後		1							1
小計(28科目)	—	17	23	0								
専門基礎科目	人体構造・機能と薬理	人体解剖学	1前	1		1						
		超音波解剖学	1前	1				1				
		人体組織学	1前	1		1						
		人体生理学	1前	2		1						
		基礎生化学	1前	1				1				
		薬理学	2前	2		1						
		病原・免疫検査の基礎	微生物学	1後	2		1					
	免疫学		1後	2		1						
	病理学		1前	2		1						
	保健医療福祉	食品衛生学	2前		2						1	
		公衆衛生学	2後	2		1						
		公衆衛生学実習	3前	1		1				1		
		国際保健医療学	4前	2		1						
		医学概論	1前	1		1						
		保健行政論	3前	1		1						
	情報科学と医学	情報科学	1後	1							1	
		医用工学概論	2前	2		1						
		医用工学実習	2後	1		2				1		
	チーム医療学	チーム医療学	2後	1		2				1	2	
		BLS演習	4前		1	1						
小計(20科目)	—	26	3	0								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目・基礎分野	科学の基礎	化学	1前	2							1	
	生物学	1後	2								1	
	物理学	1後		2							1	
	数学	1前		2							1	
	基礎セミナー	1前	1			10		3	2			
	人間と文化	言語と表現	1前		2							1
		日本国憲法	1後		2							1
		暮らしと経済	1前		2							1
		国際文化論	1前	1								1
		食文化論	1後		1							1
		手話	1後		1							1
		生命倫理	1後		2							1
		社会保障制度概論	1後		2							1
		哲学	2後		2							1
		心理学	2後		2							1
	コミュニケーション論	4前	1								1	
	スポーツ	健康とスポーツ	1前		2							1
		スポーツ実技	1後		1							1
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	1前	1								1
		コミュニケーション英語Ⅱ	1後	1								1
		メディカル英語Ⅰ	2前	1								1
		メディカル英語Ⅱ	2後	1								1
		ドイツ語Ⅰ	1前		1							1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1							1
		中国語Ⅰ	1後		1							1
		中国語Ⅱ	2前		1							1
		フランス語Ⅰ	2前		1							1
		フランス語Ⅱ	2後		1							1
小計(28科目)	—	17	23	0								
専門基礎科目	人体構造・機能と薬理	人体解剖学	1前	1		1						
		超音波解剖学	1前	1					1			
		人体組織学	1前	1		1						
		人体生理学	1前	2		1						
		基礎生化学	1前	1					1			
		薬理学	2前	2		1						
		病原・免疫検査の基礎	微生物学	1後	2		1					
	免疫学		1後	2		1						
	病理学		1前	2		1						
	保健医療福祉	食品衛生学	2前		2						1	
		公衆衛生学	2後	2		1						
		公衆衛生学実習	3前	1		1					1	
		国際保健医療学	4前	2		1						
		医学概論	1前	1		1						
		保健行政論	3前	1		1						
	情報科学と医学	情報科学	1後	1							1	
		医用工学概論	2前	2		1						
		医用工学実習	2後	1		2				1		
	チーム医療学	チーム医療学	2後	1		2					2	
		BLS演習	4前		1	1						
小計(20科目)	—	26	3	0								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	臨床病態学	病態生理学	1後	2			1					
		臨床病態学Ⅰ	2前	2			1					
		臨床病態学Ⅱ	2後	2			1					
		病態栄養学	4前	2			1					
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2前	2			1					
		血液検査学Ⅱ	2後	2			1					
		血液検査学実習Ⅰ	2後	1			2			1		
		血液検査学実習Ⅱ	3前	1			2			1		
		病理組織検査学	1後	2					1			
		病理細胞検査学	2前	1					1			
病理検査学実習	2前	1			1			1				
専門科目	生物化学分析検査学	臨床生化学	1前	1			1					
		食品分析学	2後		1						1	
		臨床化学検査学Ⅰ	1後	2					1			
		臨床化学検査学Ⅱ	2前	2			1					
		臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1			1		
		臨床化学検査学実習Ⅱ	2後	1			1			1		
		放射性同位元素検査学	3前	1			1					
		質量分析検査学	3前	2			1					
		遺伝子検査学	3前	2			1					
		遺伝子検査学実習	3前	1			2				1	
	病因・生体防御検査学	免疫検査学Ⅰ	2前	2						1		
		免疫検査学Ⅱ	2後	1						1		
		免疫検査学実習	2後	1			1			1	1	
		病原微生物検査学Ⅰ	2前	2			1			1		
病原微生物検査学Ⅱ	2後	1			1			1				
病原微生物検査学実習	3前	1			1			1	1			
輸血・移植検査学	3前	1			1							
医動物検査学(実習を含む)	2後	2			2				1			
専門科目	生理機能検査学	臨床生理検査学Ⅰ	1後	2							1	
		臨床生理検査学Ⅱ	2前	2			1					
		臨床生理検査学Ⅲ	2後	2			1					
		臨床生理検査学実習Ⅰ	3前	1					1	1	1	
		臨床生理検査学実習Ⅱ	3前	1					1	1	1	
		臨床超音波検査学	3前	1					1			
		超音波検査学特論(実習を含む)	3後		2				1		1	
専門科目	検査総合管理学	臨床検査総論	2前	2			1					
		臨床検査総論実習	2後	1			1			1	1	
		検査管理総論	1後	2			1					
		国際臨床検査学	3前	1			1					
		医療統計学演習	3後		1		1					
専門科目	医療安全管理学	3前	1			1						
専門科目	臨床検査学総合演習	臨床検査学総合演習Ⅰ	3前	1			2		1	1		
		臨床検査学総合演習Ⅱ	4後	1			2		1	1		
専門科目	実習	臨地実習	3後	8			2		1	1		
専門科目	卒業研究	卒業研究Ⅰ	4前	2			10		3	1	4	
		卒業研究Ⅱ	4後	2			10		3	1	4	
		小計(47科目)	—	72	4	0						
合計(95科目)		—	115	30	0							
卒業要件及び履修方法												
一般教養科目から必修17単位及び選択7単位以上(科学的思考の基礎からの2単位及び外国語からの2単位を含む)、専門基礎科目から必修26単位及び選択1単位以上、専門科目から必修72単位及び選択1単位以上を修得し、合計124単位(必修115単位、選択9単位)以上修得すること。 1年間の履修登録単位数の上限は45単位とする。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床病態学	病態生理学	1後	2			1				
		臨床病態学Ⅰ	2前	2			1				
		臨床病態学Ⅱ	2後	2			1				
		病態栄養学	4前	2			1				
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2前	2			1				
		血液検査学Ⅱ	2後	2			1				
		血液検査学実習Ⅰ	2後	1			2				1
		血液検査学実習Ⅱ	3前	1			2				1
		病理組織検査学	1後	2					1		
		病理細胞検査学	2前	1					1		
病理検査学実習	2前	1			1			1			
専門科目	生物化学分析検査学	臨床生化学	1前	1			1				
		食品分析学	2後		1						1
		臨床化学検査学Ⅰ	1後	2					1		
		臨床化学検査学Ⅱ	2前	2			1				
		臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1			1	
		臨床化学検査学実習Ⅱ	2後	1			1			1	
		放射性同位元素検査学	3前	1			1				
		質量分析検査学	3前	2			1				
		遺伝子検査学	3前	2			1				
		遺伝子検査学実習	3前	1			2				1
	病因・生体防御検査学	免疫検査学Ⅰ	2前	2							1
		免疫検査学Ⅱ	2後	1							1
		免疫検査学実習	2後	1			1			1	1
		病原微生物検査学Ⅰ	2前	2			1			1	
病原微生物検査学Ⅱ	2後	1			1			1			
病原微生物検査学実習	3前	1			1			1	1		
輸血・移植検査学	3前	1			1						
医動物検査学(実習を含む)	2後	2			2				1		
専門科目	生理機能検査学	臨床生理検査学Ⅰ	1後	2							1
		臨床生理検査学Ⅱ	2前	2			1				
		臨床生理検査学Ⅲ	2後	2			1				
		臨床生理検査学実習Ⅰ	3前	1					1	1	1
		臨床生理検査学実習Ⅱ	3前	1					1	1	1
		臨床超音波検査学	3前	1					1		
		超音波検査学特論(実習を含む)	3後		2				1		1
専門科目	検査総合管理学	臨床検査総論	2前	2			1				
		臨床検査総論実習	2後	1			1			1	1
		検査管理総論	1後	2			1				
		国際臨床検査学	3前	1			1				
		医療統計学演習	3後		1		1				
専門科目	医療安全管理学	3前	1			1					
専門科目	臨床検査学総合演習	臨床検査学総合演習Ⅰ	3前	1			2		1	1	
		臨床検査学総合演習Ⅱ	4後	1			2		1	1	
専門科目	実習	臨地実習	3後	8			2		1	1	
専門科目	卒業研究	卒業研究Ⅰ	4前	2			10		3	1	4
		卒業研究Ⅱ	4後	2			10		3	1	4
		小計(47科目)	—	72	4	0					
合計(95科目)		—	115	30	0						
卒業要件及び履修方法											
一般教養科目から必修17単位及び選択7単位以上(科学的思考の基礎からの2単位及び外国語からの2単位を含む)、専門基礎科目から必修26単位及び選択1単位以上、専門科目から必修72単位及び選択1単位以上を修得し、合計124単位(必修115単位、選択9単位)以上修得すること。 1年間の履修登録単位数の上限は45単位とする。											



【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目・基礎分野	科学の基礎	化学	1前	2								1	
	生物学	1後	2									1	
	物理学	1後	2									1	
	数学	1後	2									1	
	基礎セミナー	1前	1			10		3	2				
	人間と文化	言語と表現	1前	2									1
		日本国憲法	1後	2									1
		暮らしと経済	1前	2									1
		国際文化論	1前	1									1
		食文化論	1後	1									1
		手話	1後	1									1
		生命倫理	1後	2									1
		社会保障制度概論	1後	2									1
		哲学	2後	2									1
		心理学	2後	2									1
		コミュニケーション論	4前	1									1
	スポーツ	健康とスポーツ	1前	2									1
		スポーツ実技	1後	1									1
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	1前	1									1
		コミュニケーション英語Ⅱ	1後	1									1
		メディカル英語Ⅰ	2前	1									1
		メディカル英語Ⅱ	2後	1									1
		ドイツ語Ⅰ	1前	1									1
		ドイツ語Ⅱ	1後	1									1
		中国語Ⅰ	1後	1									1
		中国語Ⅱ	2前	1									1
		フランス語Ⅰ	2前	1									1
	フランス語Ⅱ	2後	1									1	
	小計(28科目)	—	17	23	0								
専門基礎科目	人体構造・機能と薬理	人体解剖学	1前	1			1						
		超音波解剖学	1前	1					1				
		人体組織学	1前	1			1						
		人体生理学	1前	2			1						
		基礎生化学	1前	1					1				
		薬理学	2前	2			1						
	病因・免疫検査の基礎	微生物学	1後	2			1						
		免疫学	1後	2			1						
		病理学	1前	2			1						
	保健医療福祉	食品衛生学	2前	2									1
		公衆衛生学	2後	2			1						
		公衆衛生学実習	3前	1			1				1		
		国際保健医療学	4前	2			1						
		医学概論	1前	1			1						
		保健行政論	3前	1			1						
	情報科学と医用工学	情報科学	1後	1									1
		医用工学概論	2前	2			1						
医用工学実習		2後	1			2				1			
チーム医療	チーム医療学	2後	1			2				1		2	
	BLS演習	4前	1			1							
	小計(20科目)	—	26	3	0								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	臨床病態学	病態生理学	1後	2			1					
		臨床病態学Ⅰ	2前	2			1					
		臨床病態学Ⅱ	2後	2			1					
		病態栄養学	4前	2			1					
	形態検査学	血液検査学Ⅰ	2前	2			1					
		血液検査学Ⅱ	2後	2			1					
		血液検査学実習Ⅰ	2後	1			2				1	
		血液検査学実習Ⅱ	3前	1			2				1	
		病理組織検査学	1後	2					1			
		病理細胞検査学	2前	1					1			
病理検査学実習	2前	1			1		1			1		
専門科目	生物化学分析検査学	臨床生化学	1前	1			1					
		食品分析学	2後		1							1
		臨床化学検査学Ⅰ	1後	2					1			
		臨床化学検査学Ⅱ	2前	2			1					
		臨床化学検査学実習Ⅰ	2後	1			1		1		1	
		臨床化学検査学実習Ⅱ	2後	1			1		1		1	
		放射性同位元素検査学	3前	1			1					
		質量分析検査学	3前	2			1					
		遺伝子検査学	3前	2			1					
	遺伝子検査学実習	3前	1			2					1	
	病因・生体防御検査学	免疫検査学Ⅰ	2前	2						1		
		免疫検査学Ⅱ	2後	1						1		
		免疫検査学実習	2後	1			1			1	1	
		病原微生物検査学Ⅰ	2前	2			1			1		
		病原微生物検査学Ⅱ	2後	1			1			1		
		病原微生物検査学実習	3前	1			1			1	1	
		輸血・移植検査学	3前	1			1					
	医動物検査学(実習を含む)	2後	2			2					1	
	生理機能検査学	臨床生理検査学Ⅰ	1後	2								1
		臨床生理検査学Ⅱ	2前	2			1					
臨床生理検査学Ⅲ		2後	2			1						
臨床生理検査学実習Ⅰ		3前	1					1		1	1	
臨床生理検査学実習Ⅱ		3前	1					1		1	1	
臨床超音波検査学		3前	1					1				
超音波検査学特論(実習を含む)	3後		2				1		1			
検査総合管理学	臨床検査総論	2前	2			1						
	臨床検査総論実習	2後	1			1			1	1		
	検査管理総論	1後	2			1						
	国際臨床検査学	3前	1			1						
	医療統計学演習	3後		1		1						
医療安全管理学	3前	1			1							
臨床検査学総合演習	臨床検査学総合演習Ⅰ	3前	1			2		1	1			
	臨床検査学総合演習Ⅱ	4後	1			2		1	1			
実地実習	3後	8			2		1	1				
卒業研究	卒業研究Ⅰ	4前	2			10		3	1	4		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			10		3	1	4		
小計(47科目)		—	72	4	0							
合計(95科目)		—	115	30	0							
卒業要件及び履修方法												
一般教養科目から必修17単位及び選択7単位以上(科学的思考の基礎からの2単位及び外国語からの2単位を含む)、専門基礎科目から必修26単位及び選択1単位以上、専門科目から必修72単位及び選択1単位以上を修得し、合計124単位(必修115単位、選択9単位)以上修得すること。 1年間の履修登録単位数の上限は45単位とする。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

【令和3年度】

履修単位の上限による選択科目履修制限緩和を理由に、「数学」の配当期間を前期に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
74 科目	21 科目	0 科目	95 科目	74 科目 [ 0 ]	21 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	95 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	修文大学短期大学部 (必要面積5,400㎡)と 共用(収容定員540人)			
	校舎敷地	4,279.62㎡	5,460.99㎡	2,501.69㎡	12,242.30㎡				
	運動場用地	0.00㎡	25,376.36㎡	0.00㎡	25,376.36㎡				
	小 計	4,279.62㎡	30,837.35㎡	2,501.69㎡	37,618.66㎡				
	そ の 他	0.00㎡	1,321.69㎡	0.00㎡	1,321.69㎡				
	合 計	4,279.62㎡	32,159.04㎡	2,501.69㎡	38,940.35㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	修文大学短期大学部 (必要面積4,650㎡)と 共用(収容定員540人)			
		10,758.30㎡ (10,758.30㎡)	9,274.09㎡ (9,274.09㎡)	4,969.89㎡ (4,969.89㎡)	25,002.28㎡ (25,002.28㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	修文大学短期大学部 (必要面積4,650㎡)と 共用(収容定員540人)			
	17室	18室	22室	3室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		修文大学短期大学部 (必要面積4,650㎡)と 共用(収容定員540人)			
	医療科学部 臨床検査学科			16 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	看護学部看護学科と 共用含む 教育・研究充実のため (2) 教育・研究充実のため (3)	
	医療科学部 臨床検査学科	1,758 <del>1,691</del> [109] <del>881</del> [29] 962 <del>885</del> <del>(881)</del> [29]	6 -5 [0] 6 (6 [0])	2 [ 0] ( 2 [ 0])	61 <del>32</del> 61 <del>(32)</del>	1,523 <del>1,252</del> 1,167 <del>(953)</del>	73 <del>67</del> (57)		
	計	1,758 <del>1,691</del> [109] <del>881</del> [29] 962 <del>885</del> <del>(881)</del> [29]	6 -5 [0] 6 (6 [0])	2 [ 0] ( 2 [ 0])	61 <del>32</del> 61 <del>(32)</del>	1,523 <del>1,252</del> 1,167 <del>(953)</del>	73 <del>67</del> (57)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			修文大学短期大学部 と共用		
		1,129㎡	155席		101,000冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						修文大学短期大学部 と共用	
		838㎡	テニスコート3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	開設2年目までに全て 購入する予定を完成 年度までに変更した ため (2) 開設前の予定どおり 開設2年目までに全て 購入する (3)
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	2,237千円	1,000千円	1,000千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	91,142千円	57,124千円	<del>28,075千円</del> 28,075千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,650千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	-千円	-千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(3)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	修文大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
健康栄養学部	4	80	0	320	学士(栄養学)	0.51	0.62	-	平成20	-	愛知県一宮市日光町6番地
管理栄養学科	4	80	0	320		0.51	0.62	-	平成20		
看護学部	4	100	0	400	学士(看護学)	1.05	1.08	-	平成28	-	愛知県一宮市日光町6番地
看護学科	4	100	0	400		1.05	1.08	-	平成28		
医療科学部	4	80		320	学士(臨床検査学)	0.85	0.92	-	令和2	-	愛知県一宮市日光町6番地
臨床検査学科	4	80		320		0.85	0.92	-	令和2		
大学全体	4	260	-	1,040	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	修文短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
生活文化学科	2	100	-	200	短期大学士(家政学)	0.63	0.69	-	昭和30	愛知県一宮市日光町6番地	
幼児教育学科第一部	2	50	-	100	短期大学士(教育学)	0.34	0.48	-	昭和37	同上	
幼児教育学科第三部	3	80	-	240	短期大学士(教育学)	0.79	0.82	-	昭和44	同上	
大学全体	2又は3	230	-	540	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医療科学部 臨床検査学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<令和2年4月> 医学博士
		人体生理学 臨床病態学Ⅰ 臨床生理検査学Ⅱ 臨床生理検査学Ⅲ
専	教授	<令和2年4月> 医学博士
		基礎セミナー 免疫学 臨床病態学Ⅱ 病態栄養学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 医動物検査学(実習を含む)
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		基礎セミナー 質量分析検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 検査管理総論 国際臨床検査学 医用工学実習
兼任	教授	<令和2年4月> 博士(医学)
		検査管理総論 医用工学実習
専	教授	<令和2年4月> 博士(医学・薬学)
		基礎セミナー 国際保健医療学 保健行政論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<令和2年4月> 医学博士
		人体生理学 臨床病態学Ⅰ 臨床生理検査学Ⅱ 臨床生理検査学Ⅲ
専	教授	<令和2年4月> 医学博士
		基礎セミナー 免疫学 臨床病態学Ⅱ 病態栄養学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 医動物検査学(実習を含む)
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		基礎セミナー 質量分析検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 検査管理総論 国際臨床検査学 医用工学実習
兼任	教授	<令和2年4月> 博士(医学)
		検査管理総論 医用工学実習
専	教授	<令和2年4月> 博士(医学・薬学)
		基礎セミナー 国際保健医療学 保健行政論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	<令和2年4月> 医学博士
		人体生理学 臨床病態学Ⅰ 臨床生理検査学Ⅱ 臨床生理検査学Ⅲ
専	教授	<令和2年4月> 医学博士
		基礎セミナー 免疫学 臨床病態学Ⅱ 病態栄養学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 医動物検査学(実習を含む)
専	教授	<令和4年4月> 博士(医学)
		基礎セミナー 質量分析検査学 遺伝子検査学 遺伝子検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 検査管理総論 国際臨床検査学 医用工学実習
兼任	教授	<令和2年4月> 博士(医学)
		検査管理総論 医用工学実習
専	教授	<令和2年4月> 博士(医学・薬学)
		基礎セミナー 国際保健医療学 保健行政論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー 医動物検査学(実習を含む) 臨床検査総論 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー BLS演習 血液検査学Ⅰ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 遺伝子検査学実習 医療安全管理学 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー 人体解剖学 人体組織学 病理学 医学概論 病態生理学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 薬学博士
		基礎セミナー 薬理学 子一ム医療学※ 臨床生化学 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 放射性同位元素検査学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー 医動物検査学(実習を含む) 臨床検査総論 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー BLS演習 血液検査学Ⅰ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 遺伝子検査学実習 医療安全管理学 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー 人体解剖学 人体組織学 病理学 医学概論 病態生理学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 薬学博士
		基礎セミナー 薬理学 子一ム医療学※ 臨床生化学 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 放射性同位元素検査学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー 医動物検査学(実習を含む) 臨床検査総論 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー BLS演習 血液検査学Ⅰ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 遺伝子検査学実習 医療安全管理学 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨地実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー 人体解剖学 人体組織学 病理学 医学概論 病態生理学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 薬学博士
		基礎セミナー 薬理学 子一ム医療学※ 臨床生化学 臨床化学検査学Ⅱ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 放射性同位元素検査学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		基礎セミナー 医用工学概論 医用工学実習 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー チーム医療学※ 微生物学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和4年4月＞ 薬学博士
		基礎セミナー 公衆衛生学 公衆衛生学実習 医療統計学演習 卒業研究Ⅰ
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 薬学博士
		公衆衛生学
専	講師	＜令和2年4月＞ 博士(医療技術学)
		基礎セミナー 病理組織検査学 病理細胞検査学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		基礎セミナー 基礎生化学 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		基礎セミナー 医用工学概論 医用工学実習 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー チーム医療学※ 微生物学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和4年4月＞ 薬学博士
		基礎セミナー 公衆衛生学 公衆衛生学実習 医療統計学演習 卒業研究Ⅰ
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 薬学博士
		公衆衛生学
専	講師	＜令和2年4月＞ 博士(医療技術学)
		基礎セミナー 病理組織検査学 病理細胞検査学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		基礎セミナー 基礎生化学 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		基礎セミナー 医用工学概論 医用工学実習 血液検査学Ⅱ 血液検査学実習Ⅰ 血液検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和2年4月＞ 医学博士
		基礎セミナー チーム医療学※ 微生物学 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	教授	＜令和4年4月＞ 薬学博士
		基礎セミナー 公衆衛生学 公衆衛生学実習 医療統計学演習 卒業研究Ⅰ
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 薬学博士
		公衆衛生学
専	准教授	＜令和3年4月＞ 博士(医療技術学)
		基礎セミナー 臨床生理検査学Ⅱ 臨床生理検査学Ⅲ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	＜令和2年4月＞ 博士(医療技術学)
		基礎セミナー 病理組織検査学 病理細胞検査学 病理検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	＜令和2年4月＞ 博士(医学)
		基礎セミナー 基礎生化学 臨床化学検査学Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅰ 臨床化学検査学実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	＜令和2年4月＞ 短期大学卒
		基礎セミナー 超音波解剖学 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 臨床超音波検査学 超音波検査学特論(実習を含む) 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	＜令和3年4月＞ 学士(教養)
		基礎セミナー チーム医療学※ 免疫検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅱ 免疫検査学実習 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習
専	助教	＜令和4年4月＞ 修士(医療技術)
		基礎セミナー 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	助教	＜令和3年4月＞ 修士(医療技術)
		病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 農学士
		化学 生物学
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 文学士
		言語と表現

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	＜令和2年4月＞ 短期大学卒
		基礎セミナー 超音波解剖学 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 臨床超音波検査学 超音波検査学特論(実習を含む) 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	＜令和3年4月＞ 学士(教養)
		基礎セミナー チーム医療学※ 免疫検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅱ 免疫検査学実習 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習
専	助教	＜令和4年4月＞ 修士(医療技術)
		基礎セミナー 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	助教	＜令和3年4月＞ 修士(医療技術)
		病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 農学士
		化学 生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	＜令和2年4月＞ 短期大学卒
		基礎セミナー 超音波解剖学 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ 臨床超音波検査学 超音波検査学特論(実習を含む) 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	講師	＜令和3年4月＞ 保険医学修士
		基礎セミナー 医動物検査学 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専	助教	＜令和3年4月＞ 学士(教養)
		基礎セミナー チーム医療学※ 免疫検査学Ⅰ 免疫検査学Ⅱ 免疫検査学実習 臨床検査総論実習 臨床検査学総合演習Ⅰ 臨床検査学総合演習Ⅱ 臨床実習
専	助教	＜令和4年4月＞ 修士(医療技術)
		基礎セミナー 病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ 病原微生物検査学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
兼任	助教	＜令和3年4月＞ 修士(医療技術)
		病原微生物検査学Ⅰ 病原微生物検査学Ⅱ
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 農学士
		化学 生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 博士(社会福祉学) 日本国憲法 社会保障制度概論
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 体育学士 健康とスポーツ スポーツ実技
兼任	教授	＜令和3年4月＞ 博士(医学) 食品衛生学
兼任	准教授	＜令和2年9月＞ 修士(教育学) 情報科学
兼任	教授	＜令和3年9月＞ 博士(人文) チーム医療学※
兼任	准教授	＜令和2年9月＞ 修士(健康科学) 食文化論
兼任	教授	＜令和3年9月＞ 修士(心理学) 心理学 コミュニケーション論
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 修士(理学) 物理学
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 工学博士 数学
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 博士(商学) 暮らしと経済
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 修士(文学) 国際文化論
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 高等学校卒 手話

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 文学士 言語と表現
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 博士(社会福祉学) 日本国憲法 社会保障制度概論
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 体育学士 健康とスポーツ スポーツ実技
兼任	教授	＜令和3年4月＞ 博士(医学) 食品衛生学
兼任	准教授	＜令和2年9月＞ 修士(教育学) 情報科学
兼任	教授	＜令和3年9月＞ 博士(人文) チーム医療学※
兼任	准教授	＜令和2年9月＞ 修士(健康科学) 食文化論
兼任	教授	＜令和3年9月＞ 修士(心理学) 心理学 コミュニケーション論
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 修士(理学) 物理学
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 工学博士 数学
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 博士(商学) 暮らしと経済
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 修士(文学) 国際文化論
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 高等学校卒 手話

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 文学士 言語と表現
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 博士(社会福祉学) 日本国憲法 社会保障制度概論
兼任	教授	＜令和2年4月＞ 体育学士 健康とスポーツ スポーツ実技
兼任	教授	＜令和3年4月＞ 博士(医学) 食品衛生学
兼任	准教授	＜令和2年9月＞ 修士(教育学) 情報科学
兼任	教授	＜令和3年9月＞ 博士(人文) チーム医療学※
兼任	准教授	＜令和2年9月＞ 修士(健康科学) 食文化論
兼任	教授	＜令和3年9月＞ 修士(心理学) 心理学 コミュニケーション論
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 修士(理学) 物理学
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 工学博士 数学
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 博士(商学) 暮らしと経済
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 修士(文学) 国際文化論
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 高等学校卒 手話

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 博士(法学)
		生命倫理
兼任	講師	＜令和3年9月＞ 修士(文学・社会学)
		哲学
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 学士(文学)
		コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ メディカル英語Ⅰ メディカル英語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 文学修士
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 修士(学術)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	＜令和3年4月＞ 博士(言語学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 博士(医療技術学)
		臨床生理検査学Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 博士(法学)
		生命倫理
兼任	講師	＜令和3年9月＞ 修士(文学・社会学)
		哲学
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 学士(文学)
		コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ メディカル英語Ⅰ メディカル英語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 文学修士
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 修士(学術)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	＜令和3年4月＞ 博士(言語学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 博士(医学)
		臨床生理検査学Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 博士(法学)
		生命倫理
兼任	講師	＜令和3年9月＞ 修士(文学・社会学)
		哲学
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 学士(文学)
		コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ メディカル英語Ⅰ メディカル英語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年4月＞ 文学修士
		ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 修士(学術)
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
兼任	講師	＜令和3年4月＞ 博士(言語学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	＜令和2年9月＞ 博士(医学)
		臨床生理検査学Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅰ 臨床生理検査学実習Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、実(実))、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

**【令和2年度】**

〇〇兼任講師（言語と表現/前期）が体調不良のため、言語と表現/前期は●●兼任講師に変更。

**【令和3年度】**

設置計画に従って2名の教員を採用する。

〇〇非常勤講師が都合により辞退。令和2年9月より●●非常勤講師がその科目を受け持つ。（令和2年度、履行状況報告後の変更のため本年度報告）

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
11	0	3	2	16	4	11	1	4	2	18	1
(11)	(0)	(3)	(2)	(16)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	2	5	2	20	4	11	2	5	2	20	4
[0]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[Δ2]	[Δ3]	[0]	[2]	[2]	[0]	[4]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数**を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
63	10	8
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{16} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{10}{18} = \boxed{55.55} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{4}{4} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1		該当なし								
2										
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1		該当なし					
2							
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況 認可時 (令和元年)	「基礎セミナー」のシラバスにおける本科目全体の到達目標について、授業の流れを示すのではなく、本科目の履修を通じて学生が身に付けるべき具体的な能力等を到達目標として示すこと。	遵守事項 初年度は新型コロナにより、教員は在宅勤務で自宅にいる学生にWEB 講義を行うことになった。基礎セミナーは教員1人に6人程の少人数で、双方向性のセミナーとなった。現在の問題を見つけ、調査、考察したことを発表、討論することで、未知の問題解決能力、創造性を身につけさせる。	履行中 少人数のグループに分け、担当教員の得意分野で、現在の問題点を見つけ、その調査、考察を教員やグループ内で発表し、討論することで、解決策を見出す。これらを通し、探究心、創造性を伸ばし、臨床検査技師としての専門的知識実技能力をつけるための次年度以降の準備を整える。
設置計画履行状況 認可時 (令和元年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 教員の年齢構成が比較的高いことから、学部内で完成年度までに教員審査に通過する優秀な若手教員を公募、あるいは関連組織から採用することを協議し、決定した。また、若手の助手を次年度より採用し、教育、研究の訓練を経験豊富な教授が行うことを確認した。	履行中 若手の専任教員を開設2年目に検査総合管理学1名、生理機能検査学1名、3年目に生体防御検査学1名、4年目に形態検査学1名を文部科学省の教員審査にかけ採用する計画である。また、助手として実習を補助しながら、教授に研究指導を受ける若手を開設2年目より4名採用する計画であり、教育の質の継続を図る。
設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見 教員審査に通過した若手の専任教員を令和2年4月に検査総合管理学1名、生理機能検査学1名採用した。また、助手として4月に1名採用した。9月に更に1名採用内定した。このことより教員構成の若返りが進んだ。	履行中 若手の専任教員を開設3年目、4年目に文部科学省の教員審査にかけそれぞれ1名採用する計画である。また、実習補助をしながら将来の教育研究を担う若手の助手を2名採用する計画である。これにより教育、研究の質を確保する。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <医療科学部 臨床検査学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 科目の開講時期 数学 1年後期	① 科目の開講時期 数学 1年前期 選択科目のうち物理、数学ともに選択できるようにした。
② 施設・設備 図書 毎年、基礎分野100冊、専門分野100冊を整備する。	② 学生の修学環境を改善するため、学生にわかりやすい教材を提供するため視聴覚資料29本を購入し、図書も77冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 修文オンライン教育センター</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD委員会は6/7, 10/7, 10/28, 12/16, 1/12, 2/24と年6回開催された。また、外部講師を招いたFD研修会が計画された。 全学のFD委員会に医療科学部から2名参加した。また、医療科学としては新型コロナ禍で対面講義、オンライン講義両方に対応するため、毎日ZOOM会議で教育のあり方を話し合った。</p> <p>c 委員会の審議事項 年6回のFD委員会で1) 相互研究型授業参観及び一般公開型相互授業参観 2) FD委員会に学生も参加し、改善について意見聴取をすること 3) ティーチング ポートフォリオについて話し合いが行われた。医療科学部では後期の講義について相互研究型授業参観を行うこととした。また、学生による授業評価アンケートの実施について話し合われた。</p>
<p>② 実施状況</p> <p>a. 実施内容</p> <p>1) 授業方法について研究会 令和2年8月28日医療科学部の講義室に名古屋大学大学院●●先生を招いて、“オンライン授業名古屋大学の取り組み”についての講演会を行い、名古屋大学医学部の取り組みを参考にして、修文大学医療科学部での新型コロナ禍における授業方法について話し合った。また、医療科学部ではZOOMを使ったオンライン講義についてほぼ毎日1時間ほど模擬講義、話し合いが行われた。</p> <p>2) 教員相互の授業参観 教員の資質向上のための委員会は全学で開かれ、FD委員会に医療科学部の教員も参加した。その中で授業参観に関し、医療科学部は1年生後期の講義を対象に教員相互の授業参観を行った。</p>

b. 実施方法

- 1) 1年生前期のはじめにZOOMにて、各教員が自分の領域の講義科目について医療科学部の教員の前で模擬講義を行い討論し、後の講義に生かした。
- 2) 1年生後期に担当教員がメールで他の教員に講義のお知らせを流し、講義を視聴した教員が講義に関する感想を担当教員と話し合った。

c. 開催状況（教員の参加状況含む）

教員相互の授業参観は前期は新型コロナでオンライン講義が多く行われなかった。後期になり、医療科学部では参観者があった科目数は4科目、参観実施数は14回であった。

d. 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

講義で優れた点を視聴した教員は取り入れ、改善点を講義した教員がとりいれることができた。門松先生の講演会には医療科学部の教員はほぼ全員参加し、討論を行い、医療科学部のZOOMによるオンライン教育の良い面で一致した。前期の各教員のZOOMによる模擬授業ではいかに学生にわかりやすく講義するかを工夫した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a. 実施の有無及び実施時期

前期、後期ともに専任教員対象に講義の後半に授業評価アンケートを行った。

前期は受講者数730名、回答者数 342名 5段階評価で3.98であった。

後期は受講者数835名、回答者数 692名 5段階評価で4.05であった。

b. 教員や学生への公開状況、方法等

教員にはFD委員会から各教員にアンケートの結果を印刷して配布した。その結果に対して、教員は今後の改善点を記載して、内容を図書館に保管した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a. 委員会の設置状況

「該当なし」

b. 委員会の開催状況（回数や開催日など）

「該当なし」

c. 委員会の審議事項等

「該当なし」

d. その他

「該当なし」

② 審議状況

a. 審議した内容

「該当なし」

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

「該当なし」

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

「該当なし」

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>建学の精神である「国家・社会に貢献できる人材の育成」のもと、超高齢化社会を迎える我が国において、診療に不可欠な臨床検査を担う臨床検査技師の養成に対する社会の要請と期待に応えることを目指し、本学に4年制の臨床検査技師養成学科を設立した。初年度は新入生を迎える段階で新型コロナ感染拡大という予想外の事態に直面した。1年生は多くの教養科目を選択し、生命の尊厳と人間の基本的権利を尊重できる豊かな人間性、臨床検査技師としての基礎的知識・技術の獲得を目指して、オンライン授業と対面授業に出席した。特に前期は基礎ゼミによって、学生が主体的に勉学することを助ける試みをZOOM授業、対面授業で行った。また、1年生に学んだ基礎的知識を確実にするため、夏休み、春休みに補講を行った。これらにより、新型コロナ禍においても、順調に教育の目標達成ができていていると思われる。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・令和8年11月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員（約120名）に各1冊を配布</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定（令和8年11月1日を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・令和8年に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定</p>
---

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]</p> <p>≪ aで「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]</p> <p>c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 [ ]</p>
---

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。